

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(ロシア語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Russian)</p>
<p>■使用言語: 日本語</p>
<p>■担当教員: 佐藤 規祥</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 1時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてロシア語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Russian language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Russian language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 本授業は、ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、一貫した授業計画に基づいてロシア語に関する基礎知識と応用する力を養成する科目である。目標は「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることである。「生きたロシア語」に触れながら学習を進める。また、ロシア語世界が身近になるよう、視聴覚メディアなどを通じて文化・風俗・歴史・社会事情等についても学び、国際的視野を涵養する一歩とする。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】:</p>
<p>■授業の内容や構成 この授業では、ロシア語基礎1とロシア語基礎2によってロシア語の基礎的な文法事項を習得する。 授業テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音(2):ロシア語の母音とアクセント、子音の同化 2. 名詞の性と数(2):男性名詞、中性名詞、女性名詞。 3. 簡単な文:「これは誰・何ですか?」、「これは一です」の表現 4. 動詞の過去形:文法性と過去形と正字法の規則 5. 名詞の格変化(2):生格と否定生格 6. 所有構文:「私には一があります」の構文とその過去形と未来形 7. 動詞の変化:命令法 8. 形容詞(2):形容詞短語尾形 9. 無人称文 10. 副詞の派生、不定人称文 11. 名詞の格変化(4):造格と与格 12. 格の用法:動詞の格支配、前置詞と格との結びつき 13. 人称代名詞の変化とその他の代名詞の変化 14. 数詞(2):様々な数詞を用いた表現、値段の表現 15. 形容詞の比較級、最上級の作り方
<p>■教科書:桑野隆『はじめてのロシア語』(新版)、白水社出版、プリント配布。</p>
<p>■課外学修等: 教科書や参考書ないしは文献資料や使用テキストの該当箇所を予習して授業に出席すること。</p>
<p>■注意事項:</p>
<p>■本授業に関する Web ページ:</p>
<p>■担当教員からのメッセージ:</p>
<p>■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載</p>

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(ロシア語)
■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Russian)
■使用言語: 日本語
■担当教員: DATSENKO Ihor
■単位数: 2
■開講期: 秋 金曜日 1時限
<p>■授業の目的【日本語】: ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてロシア語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Russian language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Russian language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 1)ロシア語の文字を正確に発音できる。 2)ロシア語の文字を自由に読み書きできる。 3)ロシア語で簡単な挨拶、受け答えができる。 4)ロシア語初等文法の基礎を理解し、運用できる。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】:</p>
<p>■授業の内容や構成 この授業では、半期でロシア語の基礎的な文法事項を習得する。 授業テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音と文字 2. 名詞と人称代名詞 3. 形容詞の性・数変化、動詞の第1変化、名詞の格 4. 動詞の第2変化 5. 動詞の過去形、所有の表現 6. 運動・動作の目標 7. 合成未来、無人称文 8. с я 動詞 9. 定義動詞と不定義動詞 10. 形容詞の短語尾形 11. 名詞、代名詞、形容詞の格変化のまとめ 12. 動詞の体 13. 動詞の命令法 14. 個数詞と順序数詞 15. 時間の表現
■教科書:西中村浩、朝妻恵理子「ロシア語をはじめよう」、朝日出版社
<p>■課外学修等: 教科書や参考書ないしは文献資料や使用テキストの該当箇所を予習して授業に出席すること。</p>
<p>■注意事項: 必ず予習をして、積極的に授業に参加すること。</p>
■本授業に関する Web ページ:
<p>■担当教員からのメッセージ: ロシア語は、ヨーロッパ諸語の一つですが、英語、ドイツ語、フランス語と違って、キリル文字を使用していま</p>

す。そのために、最初に難しそうに見えるかもしれませんが、授業では段階的に学んでいきますので、他のヨーロッパの言語と比べて、とりわけ難しいことはありません。かえって、ロシア語の学習を通して、あまり知られていない東欧の文化に触れることができるという利点もあります。

■授業開講形態等： 大学院共通科目 HP に掲載

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(ロシア語)
■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Russian)
■使用言語: 日本語
■担当教員: 水野 晶子
■単位数: 2
■開講期: 秋 水曜日 1時限
<p>■授業の目的【日本語】: ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてロシア語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Russian language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Russian language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 本授業では、ロシア語でコミュニケーションを取る際に必要となる、「読む」「聞く」「書く」「話す」の四技能をバランスよく身につけることを目標とします。また、ロシアの文化・習俗・歴史・社会についても学び、国際的な視野を養います。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: This course aims to acquire 4 basic skills (reading, listening, writing and speaking) that we need for complete communication in Russian. On completion of this course, students also will be able to have an international perspective through learning Russian cultures, customs, history and society.</p>
<p>■授業の内容や構成 各回、次のような内容で進めていきます。</p> <p>第1回 文字と発音(1)、アクセント、基本的な平叙文と疑問文(1)</p> <p>第2回 文字と発音(2)、硬子音と軟子音、基本的な平叙文と疑問文(2)</p> <p>第3回 名詞の性、文字と発音(3)</p> <p>第4回 子音の同化、ь・ъを含む語の発音、動詞の不定形と現在人称変化(第1変化)</p> <p>第5回 名詞の複数形、綴り字の規則</p> <p>第6回 所有代名詞、疑問代名詞「誰の」、格について</p> <p>第7回 指示代名詞「この」、形容詞(長語尾形)の性・数変化、疑問代名詞「どんな」</p> <p>第8回 動詞の現在人称変化(第2変化)、по-русски と русский язык</p> <p>第9回 名詞の格変化—前置格、前置詞 в と на、-ся 動詞の現在人称変化、形容詞の形をした名詞</p> <p>第10回 過去時制形、быть の過去の用法</p> <p>第11回 名詞の格変化—生格、所有表現とその否定</p> <p>第12回 名詞の格変化—対格(活動名詞と不活名詞)、運動・動作の目標、移動の手段</p> <p>第13回 曜日表現、名詞の格変化—与格、быть の未来形の用法、合成未来</p> <p>第14回 名詞の格変化—造格、述語の造格</p> <p>第15回 まとめと評価</p>
■教科書:『《新版》はじめてのロシア語』、桑野隆、白水社、ISBN 978-4-560-01635-0
<p>■課外学修等: 教科書の新出単語の意味を事前に確認し、予習した上で授業に臨んで下さい。新出単語や表現、新しい文法事項についてはしっかり復習をし、次の授業まで身に付けるようにして下さい。</p>
■注意事項:
■本授業に関する Web ページ:
■担当教員からのメッセージ:

新しい言語を学ぶということは、新しい世界への扉を開ける鍵を手にすること。ロシア語を通じて新しい世界を覗いてみませんか。最初は一見風変わりなキリル文字に戸惑ったり、今までに触れたことのない文法システムに目を丸くすることもあるかもしれませんが、しっかりサポートしていきます。魅力溢れるロシア文化に触れながら、ロシア語と一緒に学んでいきましょう。

■授業開講形態等： 大学院共通科目 HP に掲載
対面授業を基本とします。

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(ロシア語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Russian)</p>
<p>■使用言語: 日本語</p>
<p>■担当教員: 佐藤 規祥</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 2時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてロシア語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Russian language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Russian language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 本授業は、ロシア語を初めて学ぶ受講生を対象に、一貫した授業計画に基づいてロシア語に関する基礎知識と応用する力を養成する科目である。目標は「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身につけることである。「生きたロシア語」に触れながら学習を進める。また、ロシア語世界が身近になるよう、視聴覚メディアなどを通じて文化・風俗・歴史・社会事情等についても学び、国際的視野を涵養する一歩とする。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】:</p>
<p>■授業の内容や構成 この授業では、ロシア語基礎1とロシア語基礎2によってロシア語の基礎的な文法事項を習得する。 授業テーマ 1. 発音(2):ロシア語の母音とアクセント、子音の同化 2. 名詞の性と数(2):男性名詞、中性名詞、女性名詞。 3. 簡単な文:「これは誰・何ですか?」、「これは一です」の表現 4. 動詞の過去形:文法性と過去形と正字法の規則 5. 名詞の格変化(2):生格と否定生格 6. 所有構文:「私には一があります」の構文とその過去形と未来形 7. 動詞の変化:命令法 8. 形容詞(2):形容詞短語尾形 9. 無人称文 10. 副詞の派生、不定人称文 11. 名詞の格変化(4):造格と与格 12. 格の用法:動詞の格支配、前置詞と格との結びつき 13. 人称代名詞の変化とその他の代名詞の変化 14. 数詞(2):様々な数詞を用いた表現、値段の表現 15. 形容詞の比較級、最上級の作り方</p>
<p>■教科書:桑野隆『はじめてのロシア語』(新版)、白水社出版、プリント配布。</p>
<p>■課外学修等: 教科書や参考書ないしは文献資料や使用テキストの該当箇所を予習して授業に出席すること。</p>
<p>■注意事項:</p>
<p>■本授業に関する Web ページ:</p>
<p>■担当教員からのメッセージ:</p>
<p>■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載</p>

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(中国語)
■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Chinese)
■使用言語: 日本語並びに中国語
■担当教員: 劉 欣
■単位数: 2
■開講期: 秋 金曜日 1時限
<p>■授業の目的【日本語】: 中国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて中国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Chinese language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Chinese language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: はじめて中国語を学ぶ学生を対象に、一貫した授業計画に基づいて中国語に関する基礎知識と基礎的な運用力を養う。「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能をバランスよく総合的に身に着ける。また、中国語圏の文化・習慣・歴史・社会事情等について理解を深める。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: This is a course for students who are learning Chinese for the first time to develop basic knowledge and operational skills related to Chinese based on consistent lesson plan.</p>
<p>■授業の内容や構成 中国語の段階を総合的に学習し、音声面・文法面・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的能力の養成を目標とする。中国語基礎1は中国語基礎2と同じテストを使用し、基本文法の理論的な説明だけでなく、身近な分かり易い実用的例文を多く学習すること、語順・基本文型等について、日本語と中国語の比較を行うことにより、中国語の基礎固めを達成する。また、言葉の勉強を通じて、中国社会の現状や中国の人々のものの見方・考え方に親しむ。 具体的な授業内容は以下の通りである</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 発音(1) 声調(四声) ピンイン 簡体字 2, 発音(2) 母音 子音 (有気音と無気音) 3, 発音(3) 子音 (鼻母音) 轻声 ほか 4, 発音(4) 声調変化 挨拶言葉 ほか 5, 疑問代詞“谁” “什么”、人称代詞“请”+動詞句 動詞述語文 SVO “---吗”疑問分 ほか 6, 指示代詞 (1) “是”構文 疑問代詞“什么”+名詞 構造助詞“的” 助動詞“想” ほか 7, 年齢の聞き方・答えかた “什么时候” 年月日の言い方 副詞“就” 私に家族 ほか 8, 疑問代詞“哪儿” 時刻の言い方 連動文 有事吗? ほか 9, 進行形“在”+VO+呢 三つの“在” “就要~了” 助詞“过” “让”使役文 ほか 10, “該~了” 接続詞“那” 様態補語 時間の量 時量補語 ほか 11, 指示代詞(3) 方向補語 動詞+“着” ほか 12, “是~的” 可能補語 副詞“都” 方位詞 ほか 13, まとめ・復習
■教科書: 相原茂・蘇紅『スイスイ音読入門中国語』 朝日出版社

<p>■ 課外学修等:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の該当箇所を予習して授業に出席すること。 ・授業で扱った範囲の演習問題を課外学修で消化しておくこと。 ・教科書の本文・例文についてピンイン・声調を正しく発音できるように練習すること。
<p>■ 注意事項:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス指定
<p>■ 本授業に関する Web ページ:</p>
<p>■ 担当教員からのメッセージ:</p>
<p>■ 授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載</p>

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(中国語)
■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Chinese)
■使用言語: 日本語ならびに中国語
■担当教員: 甘 靖超
■単位数: 2
■開講期: 秋 金曜日 2時限
<p>■授業の目的【日本語】: 中国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて中国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培う。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Chinese language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Chinese language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: はじめて中国語を学ぶ学生を対象に、一貫した授業計画に基づいて中国語に関する基礎知識と基礎的な運用力を養う。この授業では、音声面・表現面に重点を置き、豊富な練習を行うことにより、「聞く」「話す」力をつけることを目指す。また、中国語圏の文化・習俗・歴史・社会事情等について理解を深める。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: This is a course for students who are learning Chinese for the first time to develop basic knowledge and operational skills related to Chinese based on a consistent lesson plan.</p>
<p>■授業の内容や構成 中国語の初級段階を総合的に学習し、音声面・文法面・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的能力の養成を目標とする。中国語2は、中国語1とセットの授業であり、相互に補完しあう関係にある。中国語2では、各音節を声調を伴って正確に発音できるように授業を進め、さらに、単語の暗記や短いセンテンスの会話文の練習をしつつ、基礎的な文法を身に付けていく。 具体的な授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発音(1)声調(四声) ピンイン 簡体字 2. 発音(2)母音 子音(有気音と無気音) 3. 発音(3)子音(鼻母音) 軽声 ほか 4. 発音(4)声調変化 あいさつ言葉 ほか 5. 自己紹介:人称代名詞 動詞“是” 名前の尋ね方・答え方 ほか 6. 年齢・家族・趣味について聞く:数字 副詞“也”と“都” 動詞“有” ほか 7. 買い物をする:指示代名詞 助数詞 形容詞述語文 ほか 8. 場所を尋ねる・時刻を告げる:方位詞 年月日・曜日・時刻 動詞“在” ほか 9. 生活の様子を話す:可能の助動詞“会”“能”“可以” 様態補語 動詞“喜欢” ほか 10. まとめ・復習
■教科書:本間史・孟広学著『中国語ポイント55』(白水社)
<p>■課外学修等: ・教科書の該当箇所を予習して授業に出席すること。 ・授業で扱った範囲の演習問題を課外学修で消化しておくこと。 ・教科書の本文・例文についてピンイン・声調を正しく発音できるように練習すること。</p>
■注意事項:
■本授業に関する Web ページ:
■担当教員からのメッセージ:

授業上の注意

- ・最初の授業でガイダンスを行います。必ず参加すること。
- ・参考書, 辞書についてはガイダンスで説明します。
- ・初級中国語の最重要ポイントは発音です。十分な時間をかけて練習を繰り返します。

■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(中国語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Chinese)</p>
<p>■使用言語: 日本語ならびに中国語</p>
<p>■担当教員: 寺澤 知美</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 5時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: 中国語の初歩的な知識と運用力を身につけた学生を対象に、国内外を問わずグローバル化する法曹界、政界、ビジネス、教育、文化の場で、相手の価値観・文化的背景を理解した上で戦略的に主張しつつ、円滑で良好な関係を構築するために不可欠な言語文化能力を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who have acquired a rudimentary knowledge of Chinese and the ability to use it. The course cultivates the linguistic and cultural skills that are imperative for building positive relationships with others in increasingly globalized legal, political, business, educational, and cultural arenas, both at home and abroad, while also assisting them in understanding their values and cultural backgrounds and asserting them strategically.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 中国語初級完成は中国語基礎の継続である。引き続き発音を重点的に練習しながら、中国語の初級段階を総合的に学習し、音声面・文法面・表現面において中国語の全体像がつかめるような基礎的能力の養成を目標とする。また、言葉の勉強を通じて、中国社会の現状や中国の人びとのものの見方・考え方などについての理解を深める。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: This is a course for students who have learned the Chinese language during the spring semester to develop basic knowledge and operational skills related to Chinese based on a consistent lesson plan.</p>
<p>■授業の内容や構成 中国語初級完成では、中国語基礎よりも難度の高い文法的事項を習得する。これと平行して口と耳の訓練を多く行い、さらなるステップに進むために必要な基礎能力を養う。 具体的な授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期の復習(文法を中心に) 2. 年齢の言い方、動詞“有”、比較の言い方 ほか 3. 経験を表す“过”、動詞“喜欢”、助動詞の“要” ほか 4. 年月日・曜日・時刻の言い方、前置詞“在”、文末の“了” 5. 前置詞“从”、“往”、動詞につく“了”、時間量の言い方、量詞 6. 動詞の“在”、“是～的”構文、進行の表し方 ほか 7. 主述語文、助動詞“能”、結果補語 8. 助動詞“会”、二重目的語をとる動詞、様態補語 ほか 9. 方向補語、動詞の重ね型、助動詞“可以” 10. 疑問詞の不定用法、“要是～(的话)”、助動詞の“得”ほか 11. 可能補語、“把”構文、お金の言い方 12. 選択疑問文、形容詞の重ね型、使役を表す“让” 13. “就要～了”、“被”構文、禁止表現“不要”ほか 14. 総合復習
<p>■教科書:相原茂ほか『日中いぶこみ広場 簡明版』朝日出版社</p>
<p>■課外学修等: ・教科書の該当箇所を予習して授業に出席すること。</p>

- ・授業で扱った範囲の演習問題を課外学修で消化しておくこと。
- ・教科書の本文・例文についてピンイン・声調を正しく発音できるように練習すること。

■注意事項:

■本授業に関する Web ページ:

■担当教員からのメッセージ:

授業上の注意

- ・最初の授業でガイダンスを行います。
- ・参考書, 辞書についてはガイダンスで説明します。
- ・初級中国語の最重要ポイントは発音です。十分な時間をかけて練習を繰り返します。

■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(中国語)
■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Chinese)
■使用言語: 日本語ならびに中国語
■担当教員: 前田 光子
■単位数: 2
■開講期: 秋 月曜日 3時限
■授業の目的【日本語】: 中国語の基礎的事項の既修者を主たる対象に, 中国語の応用力を養成します。特に, 中国語圏の言語文化を研究対象とする学生向けに奨励されます。
■授業の目的【英語】: This course is designed to help students who have already mastered the basics of the Chinese language to further develop their applied skills. It is recommended particularly for students who specialize in the Chinese language and culture.
■授業の達成目標【日本語】: 中国語の基礎力を固め, 応用力を伸ばすことを目指す。初級段階(主に一年次)で学んだ基本的な文法事項を確認し, 練習等を通して定着させ, 文章を読解する力, 辞書を活用してやや難度の高い文章を自力で読解する力を養う。同時に, 言語の背景にある中国の文化・社会についての理解を深めていく。
■授業の達成目標【英語】: The aim of this course is to strengthen the basic skills of the Chinese language and improve its application skills.
■授業の内容や構成 中国語中級のテキストを用いる。中国の話題をとりあげた講読コーナー「知ってますか?」を主に、まず耳で聴き発音を確認し、これまでに習得した単語・文法事項を復習・確認しながら正確に読解し、中国についての理解を深める。原則として1回に1課をこなし、学び終えたものについては次回必ず何らかの形で復習(耳で聴き、口頭で発音することを中心に)を行なう。そうすることによってさらに高度な文法的知識やより多くの語彙を確実に身につけ、中国語の運用能力を高める。 具体的な授業内容は以下の通りである。
<ol style="list-style-type: none"> 1. 数字 2. おしゃべりの話題 3. 挨拶 4. 買い物 5. 動物 6. 趣味の世界から来たことば 7. 身体を使った動作と表現 8. 道案内 9. 食事のマナー 10. 色 11. 医食同源 12. 外来語
■教科書:『遊びながら学ぶハピネス中国語』相原茂・銭鷗・竹内理樺・郭雲輝(朝日出版社)
■課外学修等: ・毎回復習し、授業で扱った範囲の教科書の本文・例文について、正しく発音できるように、また滞りなく訳せるように繰り返し練習すること。 ・教科書の該当箇所を指示に応じて予習して授業に出席すること。
■注意事項:
■本授業に関する Web ページ:
■担当教員からのメッセージ: 授業上の注意 ・最初の授業でガイダンスを行います。履修を希望する場合は最初の授業に出席してください。

・参考書, 辞書についてはガイダンスで説明します。

■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(スペイン語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Spanish)</p>
<p>■使用言語: 日本語</p>
<p>■担当教員: GONZALEZ A</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 月曜日 5時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: スペイン語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてスペイン語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Spanish language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Spanish language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 1) スペイン語の形態的特徴(活用、語形変化など)及び構文的特徴(語順や一致の法則など)についての基本的な知識を身に着ける。 2) スペイン語の動詞の直説法現在形の活用を、不規則変化も含めて、理解し、身に着ける。 3) スペイン語であいさつでき、現在のことについての簡単な会話ができるようになる。 4) スペイン語の動詞の2つの過去について理解し、身に着ける。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】:</p>
<p>■授業の内容や構成 同一の教科書「エクセレンテ!!!」(第3版)を用いて、スペイン語基礎1とスペイン語基礎2両科目2名の教員が連繫し授業を担当する。したがって週2回、同一の教科書による授業が行われる。 主要な学習内容は以下のとおりである。 第1課 文字と発音 アルファベット 母音 子音 音節・アクセントの規則 第2課 冠詞 名詞「男性名詞と女性名詞」単数形と複数形 形容詞1 第3課 主格人称代名詞 ser 動詞、疑問詞 第4課 estar 動詞 指示形容詞・代名詞 第5課 直説法現在 直接・間接目的格人称代名詞 時刻の表現 以上で、名詞・形容詞系の変化の基礎の学習を終える。 第6課 hay 存在文 不定語(1) 否定語 gustar 型動詞 * 第6課終了をめぐりに中間テストを行う。 第7課 直説法現在(不規則動詞 A, B, tener) 第8課 直説法現在(不規則動詞 C, D) 第9課 再帰動詞 第10課 現在完了 第11課 点過去 第12課 線過去 授業各回には予習が必須である。</p>
<p>■教科書:『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版(2021) 志波彩子, 西村秀人, 水戸博之, 渡辺由美(著) ISBN-13 : 978-4255551199</p>
<p>■課外学修等: 予習・復習をしてください。</p>
<p>■注意事項:</p>

■本授業に関する Web ページ:

■担当教員からのメッセージ:

西和辞典は必ず準備してください。和西辞典は必ずしも必要ありません。

初級では、文法の基礎と簡単な会話練習を通して、スペイン語の発音と語形変化に慣れていきます。

授業は、予習して臨めば理解が倍になり、さらに復習すればその倍になります。予習と復習を繰り返すことで、単語や表現が自分のなかに定着し、残っていきます。逆に予習と復習がないと、授業の内容はほとんど残らま
いまま、先に進んでいくことになるでしょう。

また、授業では口頭で読むことを繰り返します。読んで自分の発音を聞くことは、語学学習にとっておそらく一
番重要な作業です。音読を繰り返すことで、その言語が自分のものになっていくでしょう。

スペイン語は明るく陽気で楽しい言語です。どうかスペイン語の世界を楽しんでください。

■授業開講形態等：大学院共通科目 HP に掲載

基本的に対面ですが、状況によってオンラインとします。

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(スペイン語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Spanish)</p>
<p>■使用言語: 日本語</p>
<p>■担当教員: 志波 彩子</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 火曜日 5時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: スペイン語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じてスペイン語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Spanish language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Spanish language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 1) スペイン語の形態的特徴(活用, 語形変化など)及び構文的特徴(語順や一致の法則など)についての基本的な知識を身に着ける。 2) スペイン語の動詞の直説法現在形の活用を, 不規則変化も含めて, 理解し, 身に着ける。 3) スペイン語であいさつでき, 現在のことについての簡単な会話ができるようになる。 4) スペイン語の動詞の2つの過去について理解し, 身に着ける。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】:</p>
<p>■授業の内容や構成 同一の教科書「エクセレンテ!!!」(第3版)を用いて, スペイン語基礎1とスペイン語基礎2両科目2名の教員が連繫し授業を担当する。したがって週2回, 同一の教科書による授業が行われる。 主要な学習内容は以下のとおりである。 第1課 文字と発音 アルファベット 母音 子音 音節・アクセントの規則 第2課 冠詞 名詞「男性名詞と女性名詞」単数形と複数形 形容詞1 第3課 主格人称代名詞 ser 動詞, 疑問詞 第4課 estar 動詞 指示形容詞・代名詞 第5課 直説法現在 直接・間接目的格人称代名詞 時刻の表現 以上で, 名詞・形容詞系の変化の基礎の学習を終える。 第6課 hay 存在文 不定語(1) 否定語 gustar 型動詞 * 第6課終了をめぐりに中間テストを行う。 第7課 直説法現在(不規則動詞 A, B, tener) 第8課 直説法現在(不規則動詞 C, D) 第9課 再帰動詞 第10課 現在完了 第11課 点過去 第12課 線過去 授業各回には予習が必須である。</p>
<p>■教科書:『初級スペイン語 エクセレンテ!!! 三訂版』朝日出版(2021) 志波彩子, 西村秀人, 水戸博之, 渡辺由美(著) ISBN-13 : 978-425551203</p>
<p>■課外学修等: 予習・復習をしてください。</p>
<p>■注意事項:</p>

■本授業に関する Web ページ:

■担当教員からのメッセージ:

西和辞典は必ず準備してください。和西辞典は必ずしも必要ありません。

初級では、文法の基礎と簡単な会話練習を通して、スペイン語の発音と語形変化に慣れていきます。

授業は、予習して臨めば理解が倍になり、さらに復習すればその倍になります。予習と復習を繰り返すことで、単語や表現が自分のなかに定着し、残っていきます。逆に予習と復習がないと、授業の内容はほとんど残らま
いまま、先に進んでいくことになるでしょう。

また、授業では口頭で読むことを繰り返します。読んで自分の発音を聞くことは、語学学習にとっておそらく一
番重要な作業です。音読を繰り返すことで、その言語が自分のものになっていくでしょう。

スペイン語は明るく陽気で楽しい言語です。どうかスペイン語の世界を楽しんでください。

■授業開講形態等：大学院共通科目 HP に掲載

基本的にオンライン授業です。

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(朝鮮・韓国語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Korean)</p>
<p>■使用言語: Japanese and English</p>
<p>■担当教員: 宇都木 昭</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 1時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: 朝鮮・韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて朝鮮・韓国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Korean language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Korean language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: この授業は朝鮮・韓国語をはじめて学ぶ学生を対象としたものであり、朝鮮・韓国語の基礎の習得をねらいとする。授業を通じて、この言語の正しい発音を身に付け文字を読み書きできるようになるとともに、文法と会話の基礎を習得することを目指す。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: This class is designed for students who are learning Korean for the first time and aims to help them acquire the basics of the Korean language. Through this class, students will learn the correct pronunciation of the language, be able to read and write characters and acquire the basics of grammar and conversation. The class will be conducted mainly in Japanese, but English may be used as a supplementary language for students who do not speak Japanese well.</p>
<p>■授業の内容や構成 1学期間の主な学習項目は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字と発音 ・発音のルール ・基本的な助詞 ・名詞文とその否定(「～です」「～ではありません」) ・自己紹介の表現 <p>授業は主に日本語で行うが、日本語の上手でない受講生がいる場合には補助的に英語を用いることがある。</p>
<p>■教科書:カナタ韓国語学院『カナタ KOREAN 初級1』国書刊行会、2013. ISBN: 978-4-336-05677-1 Or New Ganada KOREAN for Foreigners: Elementary 1 ISBN: 9788955189100</p>
<p>■課外学修等: 教科書およびオンラインコンテンツにより、毎回の学習内容をよく復習すること。学習事項の確認のため、ほぼ毎回の授業のあとに、課題・小テストのいずれか(またはその両方)を課す。</p>
<p>■注意事項:</p>
<p>■本授業に関する Web ページ: https://sites.google.com/view/meidai-korean/home</p>
<p>■担当教員からのメッセージ: 授業中・授業外に質問をする機会を多めにとりたいと思います。基本的に、どんな質問にも対応します。質問を通じて学べることは多いので、積極的に質問をしてください。</p>

■授業開講形態等：大学院共通科目 HP に掲載

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(朝鮮・韓国語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Korean)</p>
<p>■使用言語:</p>
<p>■担当教員: 柳 朱燕</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 1時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: 朝鮮・韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて朝鮮・韓国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Korean language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Korean language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: この授業は朝鮮・韓国語をはじめて学ぶ学生を対象としたものであり、朝鮮・韓国語の基礎の習得をねらいとする。授業を通じて、この言語の正しい発音を身に付け文字を読み書きできるようになるとともに、文法と会話の基礎を習得することを目指す。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】:</p>
<p>■授業の内容や構成 1学期間の主な学習項目は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字と発音 ・発音のルール ・基本的な助詞 ・名詞文とその否定(「～です」「～ではありません」) ・自己紹介の表現 ・疑問詞 ・数詞 ・コンピュータによる入力と検索 <p>授業は基本的に、教科書に沿って一つの課を1回で終わるペースで進めていく。</p>
<p>■教科書:長谷川由起子『コミュニケーション韓国語:聞いて話そう I』(白帝社) ISBN: 978-4-86398-086-0 (電子教科書または紙媒体の教科書)</p>
<p>■課外学修等: 教科書およびオンラインコンテンツにより、毎回の学習内容をよく復習すること。学習事項の確認のため、ほぼ毎回の授業のあとに、課題・小テストのいずれか(またはその両方)を課す。</p>
<p>■注意事項:</p>
<p>■本授業に関する Web ページ: https://sites.google.com/view/meidai-korean/home</p>
<p>■担当教員からのメッセージ: この授業を通して、韓国語や朝鮮文化をより楽しく学び、幅広い知識・柔軟な発想を持つ国際的な人材として成長してほしい。</p>
<p>■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載</p>

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(朝鮮・韓国語)
■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Korean)
■使用言語: Japanese and English
■担当教員: 宇都木 昭
■単位数: 2
■開講期: 秋 金曜日 2時限
<p>■授業の目的【日本語】: 朝鮮・韓国語の入門レベルを終えた受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて朝鮮・韓国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who have completed the introductory level of the Korean language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Korean language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: この授業は朝鮮・韓国語の入門レベルを終えた学生を対象としたものであり、朝鮮・韓国語の基礎を固めることをねらいとする。授業を通じて、この言語の文法と会話の基礎を習得することを目指す。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: This class is designed for students who have completed the introductory level of Korean and aims to strengthen the basics of the Korean language. Through the class, students will learn the basics of grammar and conversation in this language. The class will be conducted mainly in Japanese, but English may be used as a supplementary language for students who do not speak Japanese well.</p>
<p>■授業の内容や構成 基礎1の学習内容の続きを学習する。1学期間の主な学習項目は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語 ・存在表現(「ある・いる」「ない・いない」) ・用言の活用 ・丁寧形の語尾 ・否定形 ・並列と逆接の接続語尾 ・過去形 ・予定の表現 ・希望表現 <p>授業は主に日本語で行うが、日本語の上手でない受講生がいる場合には補助的に英語を用いることがある。</p>
<p>■教科書:カナタ韓国語学院『カナタ KOREAN 初級1』国書刊行会、2013. ISBN: 978-4-336-05677-1 Or New Ganada KOREAN for Foreigners: Elementary 1 ISBN: 9788955189100</p>
<p>■課外学修等: 教科書およびオンラインコンテンツにより、毎回の学習内容をよく復習すること。学習事項の確認のため、ほぼ毎回の授業のあとに、課題・小テストのいずれか(またはその両方)を課す。</p>
<p>■注意事項:</p>
<p>■本授業に関する Web ページ: https://sites.google.com/view/meidai-korean/home</p>

■担当教員からのメッセージ:

授業中・授業外に質問をする機会を多めにとりたいと思います。基本的に、どんな質問にも対応します。質問を通じて学べることは多いので、積極的に質問をしてください。

■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ I(朝鮮・韓国語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills I(Korean)</p>
<p>■使用言語:</p>
<p>■担当教員: 柳 朱燕</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 2時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: 朝鮮・韓国語を初めて学ぶ受講生を対象に、基礎的な文法や語彙の学習、初歩的な言語の実践を通じて朝鮮・韓国語圏の文化や世界観を知り、その理解のプロセスによって多様な人々との協働、多文化に対する開かれた寛容な態度、想定外の諸局面に対応する柔軟性を培います。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed for students who are new to learning the Korean language. It helps them recognize the thought patterns inherent in the Korean language and culture through elementary language practice. Furthermore, through the process of understanding the language, they are able to collaborate with diverse people, exhibit an open and tolerant attitude toward multiple cultures, and exercise flexibility in dealing with unexpected situations.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: この授業は朝鮮・韓国語の入門レベルを終えた学生を対象としたものであり、朝鮮・韓国語の基礎を固めることをねらいとする。授業を通じて、この言語の文法と会話の基礎を習得することを目指す。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】:</p>
<p>■授業の内容や構成 基礎1の学習内容の続きを学習する。1学期間の主な学習項目は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示語 ・存在表現(「ある・いる」「ない・いない」) ・用言の活用 ・丁寧形の語尾 ・否定形 ・並列と逆接の接続語尾 ・過去形 ・予定の表現 ・希望表現 <p>授業は基本的に、教科書に沿って一つの課を1回で終わるペースで進めていく。</p>
<p>■教科書:長谷川由起子『コミュニケーション韓国語:聞いて話そうI』(白帝社) ISBN: 978-4-86398-086-0 (電子教科書または紙媒体の教科書) ※学期の後半には別の教材を用いることがある。詳細は授業中に指示する。</p>
<p>■課外学修等: 教科書およびオンラインコンテンツにより、毎回の学習内容をよく復習すること。学習事項の確認のため、ほぼ毎回の授業のあとに、課題・小テストのいずれか(またはその両方)を課す。</p>
<p>■注意事項:</p>
<p>■本授業に関する Web ページ: https://sites.google.com/view/meidai-korean/home</p>
<p>■担当教員からのメッセージ: この授業を通して、韓国語や朝鮮文化をより楽しく学び、幅広い知識・柔軟な発想を持つ国際的な人材として成長してほしい。</p>
<p>■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載</p>

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズⅡ(ドイツ語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills II(German)</p>
<p>■使用言語: 日本語・ドイツ語</p>
<p>■担当教員: 三宅 恭子</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 2時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: 本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。</p>
<p>■授業の目的【英語】: In this course, students will acquire advanced German language skills.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 様々な練習を通して 1 年次に学習したドイツ語に関する基礎知識を確実なものにするとともに、「話す」、「聞く」、「読む」、「書く」の四技能をバランスよく向上させることを目標とする。また、教科書で扱われているテーマを通じて、ドイツの文化、歴史への理解を深める。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: Students will acquire basic skills of German language, obtaining knowledge of general culture in German speaking countries.</p>
<p>■授業の内容や構成 ドイツ語の基礎文法をすでに習得した学生を対象とし、「習うドイツ語から使うドイツ語」を指向します。さらに高度な文法知識を得ると同時に、生きたドイツ語に実践的に対応できるように運用能力を養成します。各回の授業では会話、講読、ドイツ語による討論、聴解練習など特定の運用能力に絞って行われます。ドイツの文化、ライフスタイルについても話したり、ドイツ語を使ってアンケート調査やプレゼンテーションを行います。目標は「ドイツ語を活かす」です。 授業のテーマ: (1)健康と体の手入れ (2)贈り物と招待 (3)履歴と学校制度 (4)ゴミと環境 (5)祝祭と祝日 など</p>
<p>■教科書:「CD 付 スツェーネン2 場面で学ぶドイツ語コンパクト」 佐藤修子 三修社</p>
<p>■課外学修等: 授業で課された宿題をするだけでなく、授業内容をよく復習して着実に身につけ、次回の授業に備えてください。</p>
<p>■注意事項: 口頭練習が主です。授業への積極的な参加を平常点に反映します語学授業は継続性が大事です。授業で課された宿題をするだけでなく、授業内容をよく復習して着実に身につけ、次回の授業に備えてください。携帯電話は指示しない限り使用を認めません。教科書では、1年次に学習した文法項目も扱われています。忘れていた項目があれば、復習しておきましょう。 また、ペアでの会話練習、グループワークには積極的に参加しましょう。</p>
<p>■本授業に関する Web ページ:</p>
<p>■担当教員からのメッセージ: わからないときは質問してください。授業では、「答える準備がある」という姿勢を示すことが重要です。ぜひ積極的な態度でのぞんでください。</p>
<p>■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載</p>

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズ II(フランス語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills II(French)</p>
<p>■使用言語: Japanese / French</p>
<p>■担当教員: GARRABET Christophe jean-</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 木曜日 4時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: フランス語の基礎的事項の既修者を主たる対象に、フランス語の応用力を養成します。特に、フランス語圏の言語文化を研究対象とする向け学生に奨励されます。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This course is designed to help students who have already mastered the basics of the French language to further develop their applied skills. It is recommended particularly for students who specialize in the French language and culture.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 1年次に学習したフランス語を基礎にして、フランス語の文章の読解能力、フランス語による表現能力の向上をはかる。また、フランス語圏の社会・文化について一層深い理解を獲得できるようにする。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: Based on the acquired skills in the first year, this class will improve the reading comprehension and the expression abilities in everyday life French. It will also help to gain a deeper understanding of French-speaking societies and cultures.</p>
<p>■授業の内容や構成 この授業は前年度学習した内容をさらに深めることで、フランス語による実践的なコミュニケーション能力をさらに高めることを目的とする。つまり、この授業を通じて学生はより高度な表現を用いて、学生生活に関するさまざまなテーマ(住居・将来・学業など)についてニュアンスをつけながら表現することが可能になる。よって毎回の授業では、まず必要な語彙と文法項目を学習したあとで、学生は二人、ないしはグループをつくり、口頭で練習していく。会話の形式はロールプレイではなく、インタビュー形式を主に行う予定である。よって出席と授業への積極的な参加が必須となる。</p>
<p>■教科書:配布プリントを使用。</p>
<p>■課外学修等: この授業では毎回アクティビティを行うため、自宅学習のみでは補うことができません。ですから欠席・遅刻をしないようにすること。</p>
<p>■注意事項:</p>
<p>■本授業に関する Web ページ:</p>
<p>■担当教員からのメッセージ:</p>
<p>■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載 In view of the current disease situation, the safest and the simplest implementation method for the course is on-line classes (using Zoom every week, in a live format according to the timetable). However, if the health situation goes back to normal during the semester, face-to-face classes could be conducted.</p>

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズⅡ(ロシア語)
■科目名【英語】: Multilingual Skills II(Russian)
■使用言語: 日本語
■担当教員: DATSENKO Ihor
■単位数: 2
■開講期: 秋 金曜日 2時限
■授業の目的【日本語】: 専門的学習のツールとしてロシア語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。
■授業の目的【英語】: This course designed for advanced students of Russian. Student will extend their Russian-language skills by practicing dialogues and working on film extracts.
■授業の達成目標【日本語】: 1年半間のロシア語学習を基礎にして、ロシア語の会話の運用能力を充実させ、映像資料を含め様々な教材を利用して、高度の力を身につけることを目的とする。
■授業の達成目標【英語】: Students will extend their language skills that they acquired during the first-year course. In this course, they will expand their vocabulary and become more confident in a wide range of communicative skills including self-introduction, daily conversation and exchange of opinions.
■授業の内容や構成 本授業では、初級ロシア語における既習事項をより確実なものとし、発音力、聴覚力、文法の知識を高める。現代ロシアに対する理解を深めることを目標にし、現代ロシアの社会、とくに若者の日常生活、趣味などを紹介するロシア語会話と読み物の解読を中心に運用能力を養う練習をする。ロシアの映画、テレビ・ドラマを紹介しながら、正確に原文を理解する作業をじっくりと行っていく。使用単語を覚えた上で基本的な会話を自由にできる道を開く。 ・ 買い物に行く1 ・ 買い物に行く2 ・ 道を教える1 ・ 道を教える2 ・ 家族のことを話す1 ・ 家族のことを話す2 ・ 家族のことを話す3 ・ パーティへ行く1 ・ パーティへ行く2 ・ 見学1 ・ 見学2 ・ 旅をする／時間の表現1 ・ 旅をする／時間の表現2 ・ まとめ
■教科書:教材、プリントは授業で配布される。
■課外学修等: 教科書や参考書ないしは文献資料や使用テキストの該当箇所を予習して授業に出席すること。 毎回の予習ノートや質問応答への参加姿勢を成績評価に反映させる。
■注意事項: 必ず予習をして、積極的に授業に参加すること。 露和辞典を必ず持参すること。
■本授業に関する Web ページ:

■担当教員からのメッセージ:

中級ロシア語は、初級で学んだ基礎語学力の上に、さらに高度で、幅広い力を養う授業です。この授業では、ロシア語会話と構文把握力の養成を主眼とし、運用能力を養う練習をします。

語学が上達するためには、持続的な練習がなによりも必要ですから、1年次にロシア語を履修した学生は、学習をつづけるためにも、できるだけ中級ロシア語を履修して下さい。初等文法の復習にも十分な時間が割かれます。さらに、話す、聞く、読む、書くという4技能のバランスを考え、1年次に学んだ語彙、構文を用いて自分自身の考えを表現できるようになることも目指します。

■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載

<p>■学部・大学院区分:大学院共通科目</p>
<p>■科目名【日本語】: マルチリンガル・スキルズⅡ(中国語)</p>
<p>■科目名【英語】: Multilingual Skills II(Chinese)</p>
<p>■使用言語: 日本語ならびに中国語</p>
<p>■担当教員: 盧 建</p>
<p>■単位数: 2</p>
<p>■開講期: 秋 金曜日 2時限</p>
<p>■授業の目的【日本語】: 本授業科目は、専門的学習のツールとして外国語の能力を高め、異文化理解を深めて、国際社会に相応しい教養を育むことが目的である。</p>
<p>■授業の目的【英語】: Courses intended to boost capabilities in foreign languages as a tool for specialized academic pursuits, to enhance understanding of foreign cultures, and in doing so, to help students prepare themselves for international society.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 中級中国語2は中級中国語1の継続であり、引き続き中国語の基礎力を固め、応用力を伸ばすことを目指す。これまでに学んだ基本的な文法事項を定着させ、平易な文章を読解する力、辞書を活用してやや難度の高い文章を自力で読解する力を養う。同時に、言語の背景にある中国の文化・社会についての理解を深めていく。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: The aim of this course is to strengthen the basic skills of the Chinese language and improve its application skills.</p>
<p>■授業の内容や構成 この授業で使用する教科書は、自分のことと日本のことを話題にした文章で構成されている。豊富な練習問題に加えて、「チャレンジ」では、自分についてもどう答えるか考えて文を作り、発言する練習を行う。初級における発音や文法事項の確認をしつつ、中国語の複文を作ることばを学んでいく。こうした学習を通して「読む」「聞く」「話す」「書く」力を総合的に高めていく。 具体的な授業内容は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京案内(1):“越来越～”等 2. 東京案内(2):受け身文等 3. 交通事情(1):“所有”等 4. 交通事情(2):“不管～都/也…”等 5. 買い物事情(1):“随着”等 6. 買い物事情(2):“尽管～, 但是…”等 7. 日本の文化(1):“每个”等 8. 日本の文化(2):“恐怕”等 9. サブカルチャー(1):“以…为…”等 10. サブカルチャー(2):“听说”等 11. 食事(1):“或者”等 12. 食事(2):“只要～就…”等 13. 相互理解(1):“即使～, 也…”等 14. 相互理解(2):“除非～, 否则…”等 15. 総合復習
<p>■教科書:『2年目の伝える中国語 自分のこと日本のこと』及川淳子著(白水社)</p>
<p>■課外学修等: ・教科書の該当箇所を辞書を用いて予習して授業に出席すること。 ・授業で扱った範囲の演習問題を課外学修で消化しておくこと。 ・教科書の本文・例文についてピンイン・声調を正しく発音できるように練習すること。</p>

■学部・大学院区分:大学院共通科目
■科目名【日本語】: 実世界データ処理学特論
■科目名【英語】: Real-world data processing
■使用言語: 日本語
■担当教員: 中岩 浩巳
■単位数: 2
■開講期: 秋 その他 その他
<p>■授業の目的【日本語】: 本講義では, 実世界データを扱う上で必要となる事項について学ぶことを通して, 様々な実世界データの解析を行う場合考慮すべき知識の習得をめざす。</p>
<p>■授業の目的【英語】: This lecture will provide you to acquire knowledge that should be considered when analyzing various real-world data by learning about the matters necessary for handling the data.</p>
<p>■授業の達成目標【日本語】: 実世界データを解析しその結果に基づいて実装を行うことで社会的価値を創造する際に必要となる様々な分野の知識を身に付けることを目標とする。</p>
<p>■授業の達成目標【英語】: The goal of this lecture is to acquire knowledge in various fields necessary for creating social value by analyzing real-world data and implementing it based on the analyzed results.</p>
<p>■授業の内容や構成 データ倫理, プライバシ保護, データ前処理, クレンジング, データエラー検出, 正解データラベリング, データ量と計算量, 過学習等, 様々な分野における実世界データの解析を行う際に考慮すべき点についてのケーススタディーを講義し, データ解析結果を社会実装につなげる方法論を学ぶ。</p>
■教科書: 各回の講義で, 必要に応じて参考資料を紹介する。
<p>■課外学修等: 講義後に小テストに回答すること。また講義内容の不明点について, 繰り返し講義映像を視聴したり, 独自に調査したりしたうえで, 必要に応じて随時質問をすること。</p>
■注意事項:
■本授業に関する Web ページ:
■担当教員からのメッセージ:
■授業開講形態等: 大学院共通科目 HP に掲載